

第72期 中間報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

輝く未来の創造「メーカー商社」として
世界の産業界に貢献します。



RIX リックス株式会社

証券コード 7525

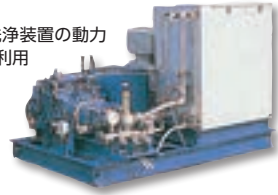
事業紹介

商品

圧力発生機

ブランジャーポンプ

高圧水の発生源となるポンプ
高圧水洗浄装置の動力源として利用



応用機器・システム商品

ロッキーワッシャー

多用途の高圧水洗浄機



金属接合機(TOX)

異種金属板を接合する機械



付属機器・部品

オイルシール類

高圧の水・油を密封し外に漏れないようにする外部からダストが侵入するのを防ぐ



関連技術商品

三方ピストン弁(ロッキーバルブ)

高圧のガス等の流量を調整する弁
主にタイヤメーカーの加硫機に使用



製品

応用機器・システム製品

フラックス精密洗浄装置

半導体新製品(CSP、BGA等)の製造工程に使用されるフラックスを除去し、純水にて精密仕上げ洗浄を行う装置



付属機器・部品

クリーンルーム対応ロータリージョイント

半導体業界で、CMP設備などに水や研磨剤などを供給する回転継手



NC高圧洗浄機(ジェットフレックス)

自動車業界向けの、高圧水を利用した部品の深穴の金属バリ取装置



工作機械用ロータリージョイント

マシニングセンターでクーラント液をスピンドルから噴射する用途に使用する回転継手



営業区分

リックスはお客様のニーズに迅速・的確に対応できる顧客密着型の「メーカー商社」という業態です。

鉄鋼

自動車

電子・半導体

ゴム・タイヤ

高機能材

環境

紙パルプ

その他

商社機能

メーカー機能

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととご拝察申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当社第72期中間期(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)における業績のとりまとめを終えましたので、ここに第72期中間報告書をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 松浦賢治

課題解決型の「メーカー商社として」世界の産業界に貢献します。

Q 当中間期の営業概況について教えてください。

A 前年同期比で、売上高は10.4%増の179億36百万円、営業利益は32.7%増の9億57百万円、経常利益は52.4%増の10億78百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は75.7%増の6億91百万円となりました。

当中間期の世界経済は、米国、欧州ともに景気が底堅く推移したことに加え、中国も堅調を維持、新興国においても緩やかな景気の回復が継続しており、全体としては堅調に推移しました。一方、日本経済も金融及び財政政策などの経済対策の効果に加え、企業収益や雇用環境の改善などを背景に設備投資意欲も持ち直しをみせるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済環境の中、当社グループでは中期3カ年計画「戦略ビジョン2017」に基づく施策を推進し、売上・利益ともに順調に押し上げることができました。

Q 当中間期のセグメント別事業の概況について教えてください。

A 当社グループにおける業界別セグメントの成績は、すべてのセグメントにおいて増収を達成しました。

鉄鋼業界向けでは、顧客の高生産下における安定操業に対応して、老朽更新や設備改善の案件が増え、連铸設備のパウダー投入装置や高炉設備のガス伸縮管などを受注したほか、長期計画の定期修理として輸送装置のディーゼルエンジンの修理などが売上増に貢献しました。この結果、

売上高は57億38百万円(前年同期比6.1%増)となりました。

自動車業界向けでは、自動車部品メーカー向け洗浄装置の引き合いを維持し、その付帯機器の販売が大幅に伸長したほか、工作機械向けの自社製品の販売が売上増に寄与しました。この結果、売上高は44億22百万円(前年同期比13.6%増)となりました。

電子・半導体業界向けでは、旺盛な新設・改修案件に対して修理再生ビジネスを中心に接合ツール・ポンプ類の販売が引き続き伸長したほか、シール類、回転継手の販売も売上増に繋がりました。この結果、売上高は18億59百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

ゴム・タイヤ業界向けでは、バルブ関連が大幅に回復し、断熱板・研掃装置が大きく伸長したことが売上増に貢献しました。この結果、売上高は14億76百万円(前年同期比24.1%増)となりました。

高機能材業界向けでは、排ガス洗浄設備を受注したほか、ポンプ・フィルターなどの消耗品の売上が好調を維持しま

した。この結果、売上高は7億50百万円(前年同期比30.5%増)となりました。

環境業界向けでは、リサイクル施設向けの設備を受注したほか、水処理関連商品の売上が堅調に推移しました。この結果、売上高は7億36百万円(前年同期比8.8%増)となりました。

紙パルプ業界向けでは、シール類の販売が減少したものの、製紙会社向け新規設備用ポンプ類、その他付帯機器の販売が大幅に伸び、売上増に貢献しました。この結果、売上高は3億90百万円(前年同期比22.5%増)となりました。

Q 下半期の展望などについてお聞かせください。

A 中期3ヵ年計画の最終年度を迎えるにあたり、その総仕上げに向けて邁進していきます。

世界の産業界に貢献するグローバルニッチトップの企業グループとして成長を果たすべく、当社グループは中期3ヵ年

計画「戦略ビジョン2017」を推進しております。今期(平成30年3月期)はいよいよその最終年度に突入いたしました。

当中期計画の三大方針「メーカー商社のビジネスモデルの進化」「海外事業展開の促進」「人と組織の能力向上」に全グループ社員がグローバルに一丸となって邁進する中、当中間期では増収及び増益となりました。

また具体的経営目標である経常利益20億円(連結ベース)に対しては、50%超の進捗率となりました。

国内を含む世界経済全体は今後緩やかな成長を維持していくものと予測されます。下半期においては当中期計画の総仕上げに努め、通期業績見通しである売上高358億円(前年同期比6.0%増)、営業利益19億円(同13.3%増)、経常利益20億円(同12.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益12億20百万円(同12.2%増)の達成に邁進してまいります。

Q 株主還元状況など株主様へのメッセージをお願いします。

A 1株当たり17円の間配当を実施させていただきました。

当社は創業以来一貫して、株主の皆様への利益還元を重要な課題の一つと捉えて事業経営にあたっております。

当中間期末では1株当たり17円の間配当を実施させていただきました。なお年度末では1株当たり17円の配当を予定し、これにより年間配当金は前年と同額の1株当たり34円となる見込みです。

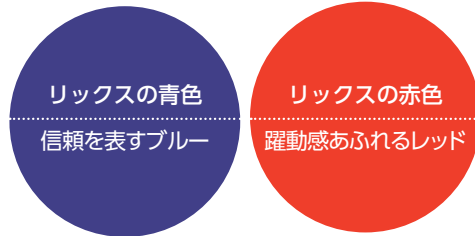
株主の皆様には、当社グループの企業価値をご理解いただくとともに、今後の発展にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Corporate Identity

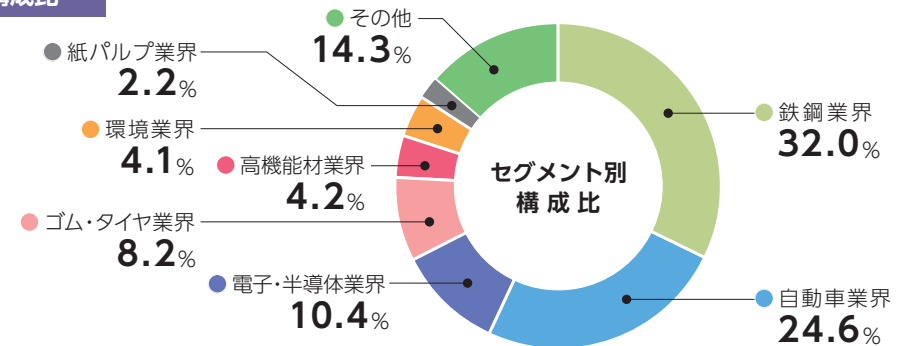
培われた伝統のもとに、さらに未来への飛躍を図るというイメージを表現しています。



- R** 自社ブランド「ROCKY」の頭文字
- I** INDUSTRY(工業/産業)の頭文字
- X** 無限の可能性と将来性



セグメント別構成比



連結貸借対照表 (単位：百万円)

科目	前期末 (平成29年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成29年9月30日現在)	科目	前期末 (平成29年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成29年9月30日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	18,809	19,965	流動負債	11,540	12,152
固定資産	6,766	6,974	固定負債	1,477	1,549
有形固定資産	3,053	3,005	負債合計	13,017	13,702
無形固定資産	116	115	純資産の部		
投資その他の資産	3,596	3,853	株主資本	11,132	12,039
資産合計	25,576	26,939	資本金	827	827
			資本剰余金	683	1,057
			利益剰余金	10,027	10,561
			自己株式	△406	△407
			その他の包括利益累計額	803	990
			非支配株主持分	622	206
			純資産合計	12,558	13,236
			負債・純資産合計	25,576	26,939

連結損益計算書 (単位：百万円)

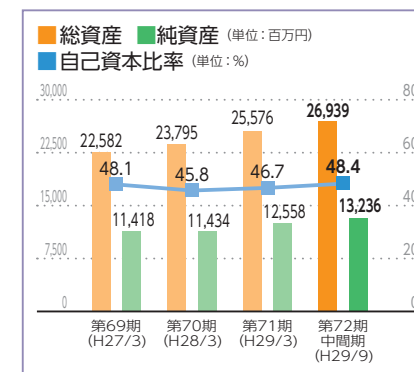
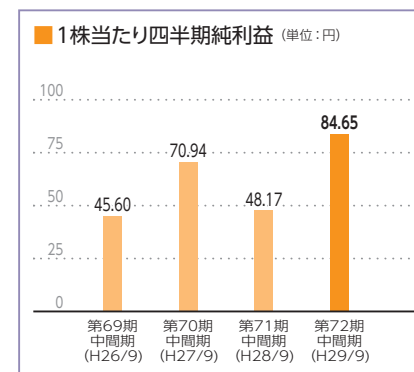
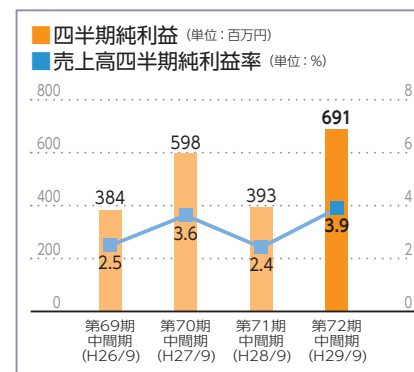
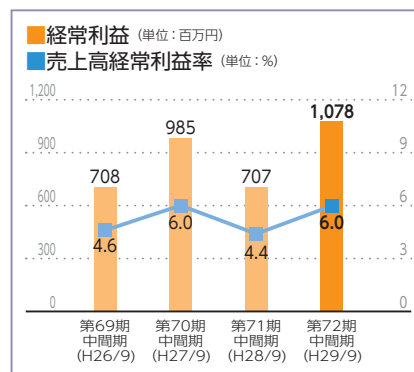
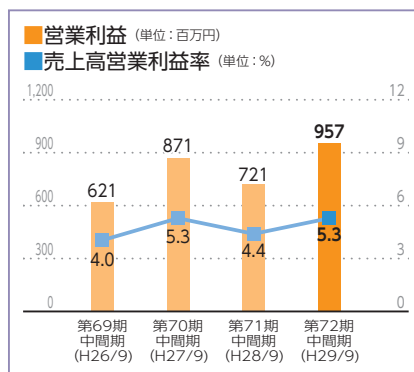
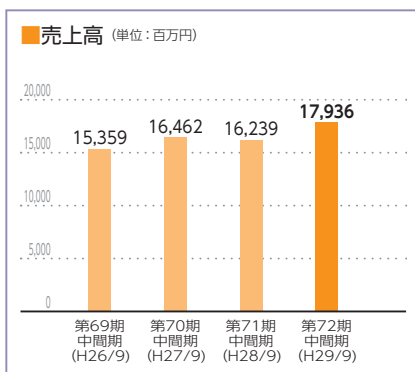
科目	前第2四半期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	当第2四半期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)
売上高	16,239	17,936
売上原価	12,725	13,985
売上総利益	3,513	3,950
販売費及び一般管理費	2,792	2,992
営業利益	721	957
営業外収益	67	128
営業外費用	81	6
経常利益	707	1,078
特別利益	37	1
特別損失	47	10
税金等調整前四半期純利益	697	1,069
法人税等	276	372
四半期純利益	421	697
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	393	691

連結包括利益計算書 (単位：百万円)

科目	前第2四半期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	当第2四半期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)
四半期純利益	421	697
その他の包括利益	△129	199
その他有価証券評価差額金	△5	209
為替換算調整勘定	△122	△6
退職給付に係る調整額	△1	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	1
四半期包括利益	291	897
(内 訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	265	878
非支配株主に係る四半期包括利益	25	18

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科目	前第2四半期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	当第2四半期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	688	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△297	△178
財務活動によるキャッシュ・フロー	△163	317
現金及び現金同等物に係る換算差額	△71	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	155	184
現金及び現金同等物の期首残高	2,687	3,209
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	2
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,843	3,396



※四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益の値を表示しております。

当社グループの業績は国内製造業の設備投資と生産活動に依拠しておりますが、国内製造業は少子高齢化に伴う国内市場縮小を見越し、地産地消の考えに基づいて海外への生産移管をますます加速していることから、この変化への対応が最も重要な

経営課題となっております。

当社グループは、2015年度より中期3ヵ年計画『戦略ビジョン2017』を下記のとおり策定し、経営課題の解決と経営目標の達成に全社一丸となって取り組んでまいります。

● 戦略ビジョン2017
2015年度～2017年度

戦略ビジョン2017 (2015年度～2017年度)

ビジョン

リックスは、メーカー商社のビジネスモデルを更に進化させ、より専門的なニッチ分野で、開発・メンテナンス等のメーカー機能をアップしながら、高付加価値を創り出し、各々の分野のナンバーワン企業顧客に、提供できるグローバルニッチトップのグローバル企業集団を目指します。

経営目標

経常利益**20億円**(連結)の達成

● 事業方針

1 メーカー商社のビジネスモデルの進化

- 1) 営業プロセス改革・生産プロセス改革の継続
- 2) 顧客接点でのメーカーの対応能力の強化
- 3) リックスグループ企業の協働を通じた結束の強化
- 4) 新事業開発・新製品開発・新市場開発の推進

2 海外事業展開の促進

- 1) 欧米を含むグローバルな拠点展開
- 2) アジア地域における適正規模での黒字化

3 人と組織の能力向上

- 1) 企画機能の向上と全社的な統合
- 2) 社内制度・ルール・教育体系の根本的な見直し
- 3) 計画的・継続的な人材育成

リックス オイルスキマー

スクリー式浮上油回収機・スパイラル式浮上油回収機

リックスのオイルスキマーは、工作機械のクーラントタンクから、浮上油を回収するために開発された製品です。タンク内の浮上油を回収することで、クーラントの腐敗防止、切削工具の寿命延長が期待できます。

1 工作機械で切削加工する際に、切削工具の冷却と金属くずの除去をするために、クーラント(切削液)を噴射します。

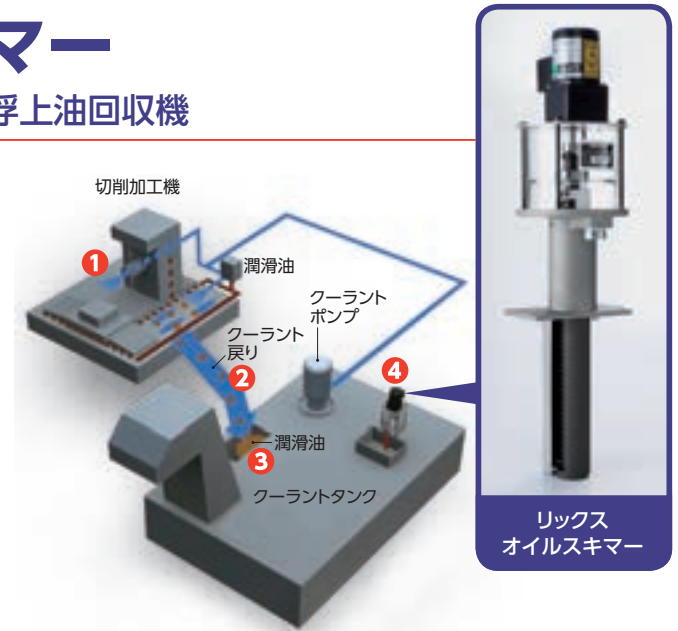
2 噴射されたクーラントは、金属くずの他に、加工機の稼動部に塗布される潤滑油と一緒にクーラントタンクに流れ込みます。

3 クーラントタンクに流れ込んだ金属くずは、タンクの底に沈殿し、潤滑油は比重が軽いのでクーラントの表面に浮いて浮上油となります。浮上油をそのまま放置すると、クーラント中にバクテリアが発生しやすくなるため、冷却性能の劣化や腐敗して悪臭を放つ原因となります。

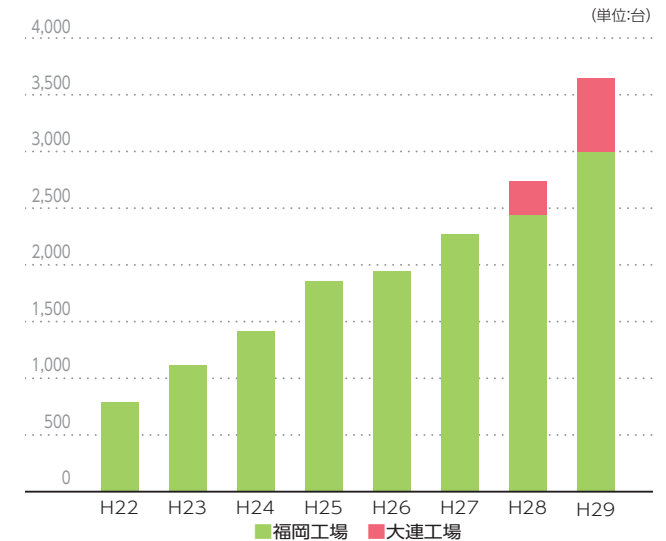
4 リックスのオイルスキマーは、油とクーラントの粘度差を利用して分離する【特許構造】により、液表面に浮いた浮上油のみを効率良く回収し、クーラントの性能をより長く保つことができます。液の交換頻度を減らすことで、廃液コストの削減と環境負荷の低減が可能となります。

国内自動車メーカーを中心に、多数のご採用を頂き、出荷台数は増加傾向にあります。平成28年度より、中国の子会社(瑞顧克斯工業(大連)有限公司)において中国市場向けモデルの生産を開始いたしました。

リックス オイルスキマーは、お客様の工数削減、環境改善に貢献していきます。



リックスオイルスキマー 出荷台数の推移



※平成29年度は、10月末時点での見込み

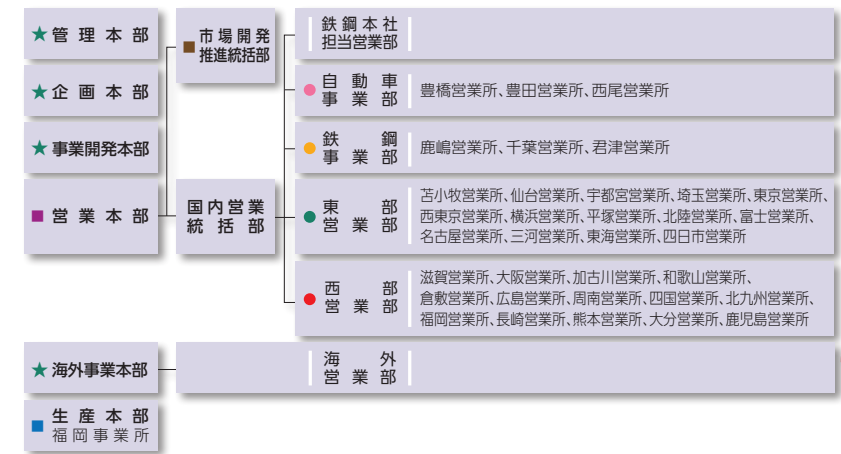
海外ネットワーク (平成29年9月30日現在)



事業所 (平成29年9月30日現在)

信頼と情報を支えるネットワーク

先進技術、膨大なノウハウ、鋭敏な感性、そしてサービスも含めた高信頼性。これらは、全国に張り巡らされたネットワークをベースに、きめ細かなコンサルティング・セールスを展開することによって獲得してきました。ユーザーとともに進むメーカー商社リックスは、なによりもお客様との質の高い、多くの接点を大切にしています。



会社概要 (平成29年9月30日現在)

- 商号 リックス株式会社
- 英文社名 RIX CORPORATION
- 創業 明治40年(1907年)10月
- 設立 昭和39年(1964年)5月1日
- 資本金 8億2,790万円
- 従業員 375名(連結582名)
- 主要な事業内容 高圧液圧応用機器、精密計測・検査機器等の製造販売

取締役および監査等委員である取締役 (平成29年9月30日現在)

代表取締役社長 松浦 賢治	取締役 伊佐 清人
常務取締役 柿森 英明	取締役 田原 俊二
常務取締役 川久保 昇	取締役 坂本 克彦
取締役 苅田 透	取締役(監査等委員) 小西 正純(*)
取締役 芹川 康介	取締役(監査等委員) 武藤 靖(*)
取締役 橋本 忠	取締役(監査等委員) 作間 功(*)
取締役 安井 卓	
取締役 江頭 裕明	
取締役 多々良 浩昭	

(*) 社外取締役

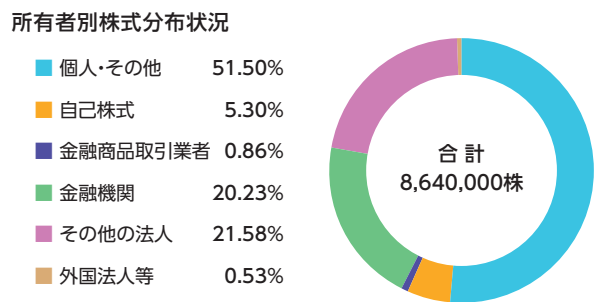
株式の状況 (平成29年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 27,600,000株
- 発行済株式の総数 8,640,000株
- 株主数 5,678名
- 大株主(上位10名)

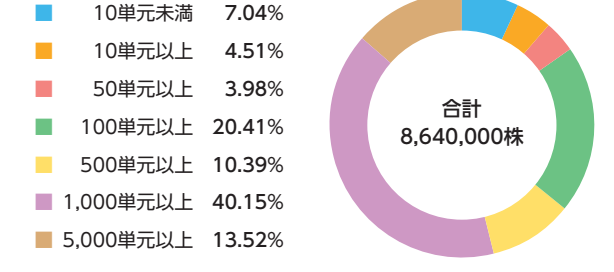
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NOK株式会社	1,167	14.27
リックス取引先持株会	477	5.84
安井玄一郎	426	5.22
株式会社西日本シティ銀行	382	4.68
リックス従業員持株会	254	3.12
安井龍之助	225	2.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	181	2.22
園田和佳子	172	2.11
山田貴広	166	2.04
株式会社三菱東京UFJ銀行	152	1.86

注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 上記大株主のほか、当社は自己株式457千株を保有しております。

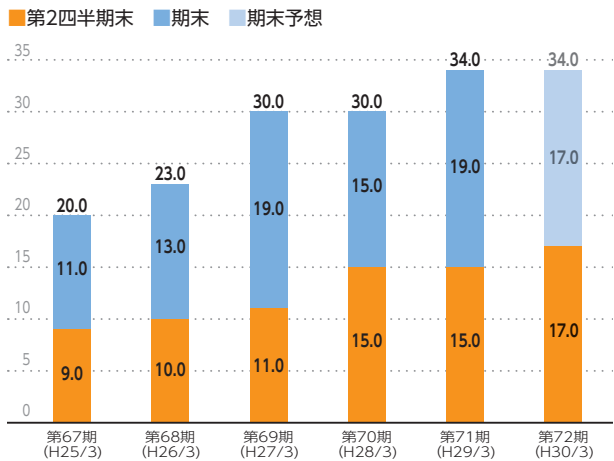
株式分布状況 (平成29年9月30日現在)



所有株数別株式分布状況



1株当たり配当金の推移 (単位:円)



株主メモ

- ◆ 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ◆ 定時株主総会 毎年6月
- ◆ 配当金受領
株主確定日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- ◆ 株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- ◆ 株式に関する各種手続の申込先について
・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。ただし、特別口座に登録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
- ◆ 同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)
- ◆ 公告方法 電子公告により行います。
公告掲載
URL <http://www.rix.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。
- ◆ 単元株式数 100株
- ◆ 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
福岡証券取引所

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。

- 割当基準日 3月31日
- 優待内容
 - 100株以上300株未満所有の株主様
⇒ クオカード1,000円分
 - 300株以上500株未満所有の株主様
⇒ クオカード2,000円分
 - 500株以上1,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード3,000円分
 - 1,000株以上10,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード4,000円分
 - 10,000株以上所有の株主様
⇒ クオカード10,000円分

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご活用ください。

<http://www.rix.co.jp/>

リックス株式会社

検索



RIX リックス株式会社

〒812-8672

福岡市博多区山王一丁目15番15号

TEL (092) 472-7311

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。